

おはようございます。令和4年度、本格的にスタートです。

3年生の皆さん、進路を決める1年となりました。2年生の皆さん、明日後輩が入学し先輩らしい立ち振る舞いを示す時です。2年生と3年生が中心となり、卒業した高校1年生が築いた伝統をより伸ばし、更なる進化を遂げた井波中学を作りましょう。

ここで、1年の出発にあたり、私からのお願いごとを話したいと思います。それは、昨年同様、道徳性を高めて欲しいと言うことです。本校は、令和元年6月より、いじめ認知0（ゼロ）が継続中です。これは、相手を思いやることや困っている人を助けてあげる、優しい心が育まれているからだと思います。そこで今年度は、次の4点を意識しながら、徳をさらに積み上げて欲しいと考えています。1つ目は「あいさつ」 2つ目は「そうじ」 3つ目は「整理・整頓」 4つ目は「歌心」です。

1つ目の「あいさつ」については、例えば、事務室の方々、給食の調理員さんたち、外部から来るお客さんなど、授業や部活動でよく接する先生方以外の人にこそ、お世話になっている気持ちを込めた挨拶を行いましょう。その際、目をつなぎ、相手より先に声をかけ、笑顔忘れず、敬いの気持ちを声に載せること。心のこもった挨拶が、校舎内外に響き渡る、明るい井波中学校風土を定着させましょう。

2つ目は「そうじ」です。一日学校で生活すると、埃や汚れが出てきます。集団生活のマナー・モラルとして、場を清めることは当たり前です。来た時よりも美しくという精神のもと、そうじ大好き清掃大臣も魅力的で素敵です。

3つ目の「整理・整頓」 普段使っているモノには、作り手の心や思いが詰まっています。職人さんが精魂込めて作った道具・用具・施設を、雑に扱ったり傷つけたりしてはいけません。机を蹴る行いは、机を製作して下さった方の心を泣かせることになります。自分の身の周りは、責任を持って整えること。社会人としての初歩のマナーでもあります。

4つ目は「歌心」です。コロナ下となり、マスクの着脱に気を配るため、平成時代のようにすんなりとは歌えないような日常となりました。でも歌は上手とか下手とかではなく周りの人の気持ちを楽しくしたり、癒したりする効果があり、幸せな時間を創り出せる力を持っていると思います。自分自身が歌うことを楽しみましょう。

さて「時を守り 場を清め 礼を正す」という言葉もあります。特に、あいさつ、そうじ、整理・整頓、歌心を伸ばして行きましょう。人間力がきつと高まり、己の輝きは必ず増すと思います。

最後に、4月1日から、成人となる年齢が20歳から18歳となりました。民法という法律が改正され、明治以来140年以上続いた大人の定義が変わったのです。18歳になると、親の同意がなくてもクレジットカードや携帯電話、アパートといった契約が結べるようにな

るなど、若者の社会参加の進展が期待されています。しかし、社会経験の乏しさゆえ、詐欺に引っかかることも不安なところですが、こうした大きな変化の中においては、自分が判断を正しく下すことが大事です。その際の心の拠り所となるものとして、道徳性があるのです。この高まりは、よりよく生きることや学習成果の向上にも繋がります。

2、3年生の皆さん。日本有数の道徳性が高い学校、井波中学校を目指して行きましょう。結びに、一人一人の希望と目標が叶う一年となることを期待し、式辞とします。

